

こっこめ通信 07 2025

「梅雨はどこ行った？」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

例年は、関東甲信越地方の梅雨入り発表後も、八丈島付近まで前線が南下して雨が降りますが、今年は南下せず（消えた？）、6月の降水量は平年の30%の131mmだけとなりました。実質、八丈島は雨の多かった5月中旬から梅雨入りし、事実上6月中旬に梅雨明けしていたと言ってもいいかもしれません。このまま高気圧が張り出すと島では珍しい水不足が心配になってしまうほどです。台風頼みの降水も、少し怖い感じがします。

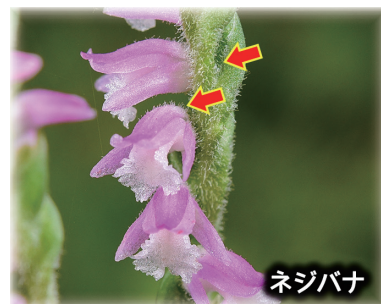
さて、今回は「今年はネジバナが豊作」「八文学講座『潮だまりの生きものを探そう』」についてのお話です。

今年はネジバナが豊作

毎年5月下旬から植物公園内の芝生地で花を咲かす「ネジバナ」（右写真上）。芝生整備の刈り払いのタイミングによっては、花が少ない年もあります。しかし今年は、刈り払いのタイミングか？雨が少なく日差しがあったためか？過去に無いくらいのたくさんの花が咲いています。

そのネジバナが咲き始める前に姿を現すのが、2023年に新種として記載されたその名も「ハチジョウネジバナ」（右写真下）。研究時に最も多くの個体が見つかった八丈島の名がつけられています。九州以北に分布しています。花茎と子房に毛があるかないかでネジバナと見分けられます。咲き始めも早く、ネジバナが満開の時には、すでに実をつけています。さらに、自家受粉するため花弁があまり開かず、咲いたそばから受粉するため、咲いている花の数も少ないです。ちなみに今年のハチジョウネジバナの数は例年通りでした。

参考資料：Suetsugu K*, Hirota KS, Hayakawa H, Fujimori S, Ishibashi M, Hsu TC, Suyama Y (2023) *Spiranthes hachijoensis* (Orchidaceae), a new species within the *S. sinensis* species complex in Japan, based on morphological, phylogenetic, and ecological evidence. *Journal of Plant Research*, 136: 333–348.



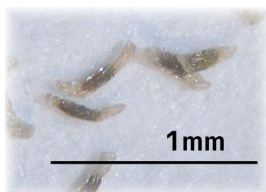
ネジバナ



ハチジョウネジバナ

ネジバナは名前の通り、地面に近い方から順に花が振れて咲きます。たくさんのネジバナがあると気になるのはどちらの向きに振れているのか？実は、ねじれの向きは決まっている訳ではなく、右巻き（写真右）、左巻き（写真左）のどちらもあります。今年は、振れていないネジバナ（写真中）が目立っていました。

結実した実からは1mmに満たない粉のような種子がたくさん入っていました。（写真右）



芝生地は草丈が高くなってきたので、そろそろ刈り払われます。また来年、沢山咲いてくれるのを楽しみに待ちましょう。（H.T.）



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈学講座「潮だまりの生きものを探そう」

6月28日に八丈学講座「潮だまりの生きものを探そう」を開催しました。この日は一日を通して晴れ渡り、日差しの強さはありませんでしたが、時折吹く涼しい風が心地よく、潮もしっかり引いていたので行事日和でした。

今回は5名の方が参加し、まず始めに潮だまりにはどのような生きものがいるのか、注意が必要な危険な生きものについて、写真パネルを使って確認し、準備を整えた上で潮だまりでの採集をスタートしました。

参加者はそれぞれ気になるポイントで、岩の隙間や石の下、砂地など、生きものがいそうな所を探して採集を行っていました。行事の中間と終了時には、皆で集まって採集した生きものを観察しました。最後に、リリースする生きものと、ビクターセンターの展示水槽に入れる生きものを分けて潮だまりから引き揚げました。参加者それぞれが楽しそうに生きものを探し採集している姿を見ると、実施して良かったと思える行事になりました。最後に、水槽に入れた生きものを下記に紹介します。(K.T)



ヨコスジタマキビモドキ



マダラヨコバサミ



クモウツボ



アミメミノカエルウオ

発光生物としても知られるヨコスジタマキビモドキは水槽内に入れるとガラス面を登ってきてしまいます。水槽内でも石の下に多いので見つけにくいです。

今回、20cm 近くの大ミカドウミウシを採集してくれたのですが、「少し大きすぎます」と伝えたところ、別の小さなものを捕まえてきてくれました。ここ数年、潮だまりもよく見かけるウミウシです。

マダラヨコバサミは、潮だまりの代表的なヤドカリ。ハサミ脚の白い点と歩脚の縞模様が特徴です。

オヤビッチャ、ギンユゴイ、クモウツボは潮だまりにいる代表的な魚。水槽に入ると直ぐに大きくなってしまいます。

アミメミノカエルウオは久しぶりに採集できました。

ユムシの仲間はいつも水槽の中にいるのですが、気がついてくれる人はいません。

7年ぶりに黒潮の大蛇行が解消され、八丈島もこの夏以降は黒潮に乗ってくる生きものたちが増えてくるかもしれませんね。

8月にも小学生以上を対象（大人も可）にした「潮だまり探検隊」を開催しますので、興味のある方は是非ご参加下さい！（H.T.）



ミカドウミウシ



オヤビッチャ



ギンユゴイ



ユムシの仲間

八丈植物公園季節調査会の報告

蒸し暑い中、実施した季節調査会でした。春の草花が終わりを告げる様に若い実になり、オオムラサキシキブやネジバナ、オニドコロが花を咲かせはじめ、いよいよ季節が春から夏へ移り変わっていく時期がやって来たのかと思いました。また、アオスジアゲハ、リュウキュウツヤハナムグリ、ハチジョウカラスアゲハなどの昆虫も飛翔が確認されました。毎回、ブーゲン広場で定点観察を行っているオオシマザクラの葉はボロボロで、サクラクワガタハバチ、ドクガ、テングイラガの一種などによる食害と思われます。（M.K.）

八丈植物公園季節調査 2025 年 6 月 8 日（日）、天気：くもり、気温：25.3℃ 調査者：1 名 VC：2 名

1	ヤブニッケイ	花、ヤブニッケイもち病菌枯れる
2	タコノキ	気根の長さ 64.8cm、周囲 11cm 雌株に実
3	オオタニワタリ	最長丈 117cm、幅 15cm
4	ニオイウツギ	花残る、若い実
5	ニオイバンマツリ	新緑
6	オオシマザクラ	実残る、ドクガ・イラガの幼虫目立つ、食害
7	アオツツラフジ	蕾・花
8	アオノクマタケラン	蕾・花・実残る
9	アオノリュウゼツラン	蕾
10	アカメガシワ	雄花残る
11	アペリア	花
12	アメリカスズメノヒエ	花
13	イヌビワ	実
14	イワニガナ	花
15	ウスベニニガナ	花
16	エノキ	実
17	オオバコ	花
18	オオムラサキシキブ	蕾
19	オニタビラコ	花
20	オニドコロ	蕾・花
21	ガクアジサイ	花
22	カズノコグサ	花
23	カタバミ	花
24	キダチチョウセンアサガオ	花
25	キツネノボタン	花・実
26	キツネノマゴ	花
27	キョウチクトウ	蕾
28	キランソウ	花
29	ウワズイモ	花
30	コケリンドウ	花
31	コナスビ	花
32	コマツヨイグサ	花
33	コメツブツメクサ	花
34	シマモクセイ	実
35	シロバナマンテマ	花・実
36	スイカズラ	花
37	スズメノカタビラ	花
38	セイヨウタンポポ	花・種
39	セネガルヤシ	花・若い実
40	タチスズメノヒエ	花
41	チガヤ	種
42	チチコグサ	種
43	ツボミオオバコ	花
44	ツメクサ	花
45	ティカカズラ	花
46	トキワハゼ	花
47	ドクダミ	花
48	トベラ	若い実
49	ナガエコミカンソウ	花・実
50	ナギナタガヤ	花・実
51	ニワゼキショウ	花
52	ネジバナ	花
53	ノアサガオ	蕾・花
54	ノジスミレの仲間	閉鎖花
55	ノチドメ	花
56	ハキダメギク	花
57	ハゼノキ	若い実
58	ハチジョウキブシ	実
59	ハチジョウグワ	実
60	ハチジョウネジバナ	花
61	ハハコグサ	花
62	ヒサカキ	実
63	ヒナギキョウ	花
64	ヒメクグ	花
65	ヒメコバンソウ	実
66	ヒメユズリハ	若い実
67	フェイジョア	花
68	ヘラバヒメジョオン	花
69	ホウライカズラ	蕾
70	マツバウンラン	実
71	マルバデイゴ	花
72	ムラサキカタバミ	花
73	ヤブツバキ	若い実
74	ヨツバムグラ	花
		シダ植物
1	イシカグマ	
2	オオイタチシダ	孢子囊
3	オニヤブソテツ	孢子囊
4	カニクサ	
5	スギナ	
6	タチクラマゴケ	紅葉
7	タチシノブ	孢子葉
8	タマシダ	孢子囊
9	トラノオシダ	
10	ナチシケシダ	孢子囊
11	ノキシノブ	孢子囊
12	ハチジョウカナワラビ	孢子囊
13	ハチジョウシダ	
14	ハチジョウベニシダ	
15	ハマハナヤスリ	孢子葉
16	ヒトツバ	孢子葉
17	ヘラシダ	孢子囊
18	ホシダ	
19	ホラシノブ	
20	マメヅタ	孢子葉
21	ミゾシダ	孢子囊
22	ヤマイタチシダ	
23	ワラビ	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、季節調査会でも観察した「テングイラガ」にスポットを当ててみたいと思います。



テングイラガの一種 *Microleon* sp.

イラガ科 *Microleon* 属。2016 年にテングイラガは、「クロフチテングイラガ」「ウスイロテングイラガ」「キマダラテングイラガ」の三種に分けられました。八丈島で見られるテングイラガがどの種に当たるのかが定かではないためテングイラガの一種としました。

幼虫は赤茶色で、オオシマザクラの葉に付き、棘には毒があるようです。(刺されたことはありません) (H.T.)

2025 07

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 ガイドウォーク
6 ガイドウォーク	小暑 7	8	9	10	11	12 ガイドウォーク
13 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	14	15	16	17	18	19 ガイドウォーク
20 ガイドウォーク	21 ガイドウォーク	大暑 22	23	24	25	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「紙で作る島の花」
27 ガイドウォーク 夏休み特別行事「親子で夜の昆虫観察会」	28	29	30	31		この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
7/13 (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

八丈学講座 「紙で作る島の花」

毎月行っている八丈学講座。夏らしい島の花をクレパペーパーで作りましょう！
7/26 (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

夏休み特別行事 「親子で夜の昆虫観察会」

植物公園内で夜に活動する昆虫や生きものを観察します。
7/27 (19:30～21:00) 4歳以上の子供と保護者
ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：15名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日祝日及び休日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2025.7.1 第290号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

編集後記

今年、花がきれいに沢山咲いたのはネジバナに限ったことではありません。アオノクマタケランも花の数が多く、さらに花が長持ちです。そのため、すでに結実した実も多いです。海岸ではハマオモトもきれいに咲いていますね。雨が少ないのが要因ですかね？(H.T.)